

国語

一

次の各文の傍線部について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

- (1) シンセンな野菜を食べる。
- (2) 盛大なハクシユが起きた。
- (3) 父はおいにドンカンだ。
- (4) おヒガンに墓参りをする。
- (5) 相手の感情にウツタえる。
- (6) 敏速に対応できた。
- (7) 誤った箇所を修正する。
- (8) 清澄な山の空気を楽しむ。
- (9) ピアノの甘美なしらべ。
- (10) 滑らかな手触りだ。

二

次の文章を読み、次の各問いに答えなさい。(設問の都合上、本文を省略または変更している箇所があります。)

著作権に配慮し本文は掲載いたしません

問一 傍線部①「知ると」をこの文の述語としたときに、この語に係る主語と目的語をそれぞれ文節で抜き出さない。

問二 傍線部②「そうした性質」とあるが、これが示している内容を本文中から十三字で抜き出さない。

問三 傍線部③「本書を著すことにした主要な動機」を説明した次の文の（ ）にあてはまる言葉を本文中から十字で抜き出さない。

性悪説に則って動く海外の人々や組織とのやりとりが盛んに行われ、さまざまな価値観が流入するグローバル化した時代に、日本人は（ ）必要がある。

問四 傍線部④「何でも『お任せ』にする習性」とあるが、この習性の具体例としてあてはまらないものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 海外旅行に行った際に、現地のお金の計算がわからなかったので財布を店員に渡して支払いに必要なお金を取ってもらった。

(イ) 仲間同士で旅行を企画した際に、話し合いに参加せず、行程もわからないままお金だけ出して旅行に行った。

(ウ) 多国籍料理を出すお店に行き、海外出身の店主にお勧めの料理を聞いてそれをそのまま注文した。

(エ) 仕事中に上司の指示に従い、もっと良くなる方法を提案したが、却下されたために指示通りの仕事をこなした。

(オ) 勉強方法がわからなかったため、先生から出された課題にまじめに取り組んだ。

問五 傍線部⑤「さまざまな価値観が日本社会に流入し、日本的な美徳が通用しない出来事が多発するようになってきた」とあるが、これはどういうことか。最も適当なものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 他者を理解しようとする考え方が日本社会に浸透してきたため、ほかの人に比べよいという考え方では、物事が動かなくなるということ。

(イ) 性悪説に基づいた文化が日本社会と交わったことで、善意に基づいた交流ができなくなり、あらゆるものに対して利便性を求めることしかできなくなってきたこと。

(ウ) 性善説に基づく文化が日本社会の中に入り込んできたことによって、傍若無人の振る舞いや自分勝手な主張をする人間が、排除されるようになってきたということ。

(エ) グローバル化によって多くの文化が日本に入ってきたため、これまでのような従順さや疑いを持たない姿勢でいると、うまくいかないことがあるということ。

(オ) グローバル化によって様々な文化が日本社会に染まり、日本の美徳であるお任せの姿勢がなければ、多くの出来事に通用しなくなってきたこと。

問六 傍線部⑥「文明の利器は、利便性の名のもとに、私たちから考える機能を奪っていく」とあるが、これはどういうことか。具体例を挙げて説明しなさい。

問七 傍線部⑦「考える葦としての人間の大切な心の機能を発揮する」とあるが、これはどのようなことか。三十字以内で説明しなさい。(句読点も字数に含む)